

本報告書の要約

1. [学習]

毎日勉強したのは1割程度。「だいたい毎日」を合わせてようやく半数に達する。1日の平均的学習時間は、学期中より46分短い1時間20分程度。宿題中心の勉強である。

2. [学習塾や予備校などの夏期講習]

参加率は都市部で圧倒的に多く44%、地方市街地12%、地方郡部3%。夏期講習参加は、ほぼ都市部に限定された現象である。平均日数は15日間、1日につき約3時間。夏期講習に参加してみて「役に立った」と評価しているのは7割である。

3. [起床と就寝]

夏休み、規則正しく起床したのは7割、就寝時間が決まっていたのは6割5分。就寝時間はふだんとほとんど変わらず午後11時台が多いが、起床時間は4割がふだんより遅くなる。都市部で朝寝坊・夜ふかし型が目立つ。

4. [朝食]

毎朝食べたのは7割、3割は食べない日があった。1人で食べるが多かったという孤食型は3割を超えた。

5. [テレビ]

平均すると1日およそ3時間の視聴だが、4時間以上見た者が4割に及ぶ。約8割はふだんよりテレビ視聴時間が増えている。

6. [テレビ・ゲーム、マンガ]

テレビ・ゲームをほとんど毎日したのは、男子の3割。マンガをほとんど毎日読んだのは全体で約3割、マンガ以外の読書は2割弱である。

7. [外出行動]

夏休みに、ハイキング・キャンプに出かけた者は3割、部活動で学校や試合場に行った者は57%、映画やコンサートは32%、美術館や博物館は8%である。旅行については、都市部からの旅行先が地方に比べて全国に散らばる傾向があり、期間も3～5日間と長い。

8. [スポーツ]

部活動でしたのがもっとも多く6割、プールに行ったのは35%。

9. [逸脱的行動経験]

各行動遵守率は、「バイクなどに乗らない」93%、「アルバイトをしない」91%、「ゲームセンターや盛り場に入らない」76%である。

10. [新しい友人]

夏休みに新しい友人ができたのは2割。

11. [楽しさ、忙しさ、充実感]

夏休みを振り返ってみて、楽しかったのは(「とても楽しかった」+「どちらかといえば楽しかった」)8割、忙しかったのは半数をこえる53%、充実していたのは4割である。一番楽しかったことは、旅行、親戚の家に行ったこと、映画やコンサートなど。楽しかったことが特になかった者は1割。

12. [夏休みの計画に対する満足度]

満足するまでできた者が多かったのは、旅行、部活動、好きな趣味に打ち込むこと。逆に、不満が残っているのが、苦手な科目の勉強、規則正しい生活をする、学校の宿題を計画的にすること。

13. [どんな夏休みだったか]

遊び中心型29%、ガラガラ型22%、部活動型17%が多い。勉強型の夏休みだったと答えたのは7%にとどまる。

14. [2学期にがんばりたいこと]

第1位は勉強(6割)で群を抜いている。第2位は部活動(2割)。

15. [地域差はどこに?]

夏休みの行動や意識にかかわる地域差が、どこにどの程度見られるのかを、第2部では検討した。

*各部各章の執筆担当は以下の通りである。

調査報告にあたって・調査概要・本報告書の要約——耳塚

第1部1章——田中 2章——菅原

3章——時松 4章——田中・菅原

第2部——耳塚